

乳房炎対策のポイント

乳房炎は生産性の低下だけでなく、作業者の精神的負担にもつながります。限られた労働力や作業環境のなかで乳房炎を予防するためには、次に示す内容がポイントとなります。

1 環境

乳房が汚れていると乳房炎になるリスクが高まります。乳房の汚れは、肢蹄や尻尾、牛床および通路の汚れ、パドックや牛道のぬかるみなどから付着します。カウトレーナーの設置、敷料の投入量増加のほかに、低コストでできる対策事例を図1に示します。

一方、体細胞数への影響が大きく、慢性化しやすい環境性連鎖球菌（OCS）による乳房炎は、とくに牛床（劣化した牛床マット）の汚れが起因します。牛床への消石灰（又はドロマイト石灰）散布が推奨されます。

2 乳牛の健康

乳牛が健康であれば、たとえ乳房内に病原菌が侵入しようとしても、免疫によって撃退することができます。免疫とは、①粘膜、②抗体、③白血球の3段階で構成されています。粘膜は病原菌の侵入を防ぎ、抗体と白血球は侵入してくる病原菌を撃退

します。栄養が不足し、肝機能が弱まっていると、第1段階の粘膜免疫機能の低下から病原菌が侵入しやすくなり、抗体や白血球で撃退しきれず、乳房炎をはじめとする疾病に罹患してしまいます。一方、乳牛がストレスを感じると、免疫が低下してしまいます。ストレスは、具体的につきのようなものがあります。

(1) 削瘦、過肥、乾物摂取量の不足

栄養素の不足は免疫力の低下に直結します。分娩時の過肥は、分娩後の乾物摂取量の低下を招き、体脂肪動員によって肝機能を低下させます。

(2) 不快・不衛生な環境

暑さ、寒さ、汚れ、渴き、汚れた空気、寝起きしづらい牛床、恐怖、過密群の変化など、牛を取り巻く環境が不快・不衛生だとストレスになります。

(3) 不良発酵サイレージ

酪酸、硝酸態窒素、カビ毒、過剰な溶解性タンパク質などを分解するために、多量のビタミンが消費されてしまいます。また、採食量不足により肝機能が低下します。

3 搾乳方法

ポイントは、①十二分な搾乳刺激と過搾乳の防止により乳頭先端を損傷させないこと、②確実なティッピングにより乳頭を殺菌することです。



スクレーパーの稼働回数を増やすことで、通路に溜まる糞尿の量が減ります。また、スクレーパーをまたぐ牛の足の汚れも少なくなります。

除糞作業は最も低コストの対策です。糞かき棒を数ヶ所に配置し、気がついたら直ぐに除糞できるように工夫しましょう。乳牛は起立する際に排糞する習性があります。飼料給与時に牛床の糞を重点的に落とす農場もあります。

尻尾の汚れは乳房や乳頭の汚れにつながります。バーンクリーナーや牛床の糞尿に尻尾が触れることを防ぐために、尻尾を吊ることは効果的です。

図1 今からできる低コスト乳房炎対策事例



敷料が豊富で牛体がきれい



明るく衛生的な牛舎



ゆったりと休める牛床

図2 乳牛のストレスを軽減することは乳房炎予防にとってもいちばんの近道です